

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	Tribol GR HT 2
供給者の会社名称	株式会社エスティジェイ
住所	〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子一丁目 26 番 26 号
電話番号	044-850-1401
供給者のファクシミリ番号	044-850-1402
緊急連絡電話番号	044-850-1401
推奨用途	潤滑剤、潤滑グリース
使用上の制限	推奨用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

区分に該当しない

健康に対する有害性

区分に該当しない

環境に対する有害性

区分に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	該当しない

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱わない他の危険有害性

高圧下での製品との接触による皮膚への浸透は医学的に応急処置を要する。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

該当しない

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成、成分情報

化学名又は一般名	CAS 番号	化審法官報 整理番号	濃度又は濃度 範囲(wt%)
ミネラルオイル	-	-	≥95
2,6-ジ-tert-ブチル-4-ノニルフェノール	4306-88-1	-	≥1、<5
セバシン酸ナトリウム	17265-14-4	2-907	≤3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	大量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ、再使用の前に洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

火災時の特有の危険有害性

燃焼または熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素、金属酸化物等が発生するおそれがある。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(「8. 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や

吸入を避ける

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

ウエス、砂等に吸着させ、空容器等に回収する。

二次災害の防止策

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。
接触回避	汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ、再使用前に洗浄すること。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

技術的対策	保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
混触禁止物質	酸化剤等
安全な保管条件	直射日光、高温を避け、乾燥した、涼しい、換気の良い場所で保管する。
安全な容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な専用容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護装置

管理濃度

設定されていない

許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH TLV-TWA (2021)	5 mg/m ³ (鉍物油 (金属用切削油を除く)) (インハラブル粒子)
日本産業衛生学会 (2021)	3 mg/m ³ (鉍油ミスト)

設備対策

換気が不十分な場合には、局所換気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	ニトリルゴム製保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	側板付き保護眼鏡やゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて耐薬品性のエプロン、不浸透性の保護衣、長靴等を着用する。

特別な注意事項

情報なし

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	暗黄グリース
臭い	弱い臭い
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	>120°C(開放式)
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水:不溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	<1,000 kg/m ³ (20°C)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱い条件下では反応しない。
化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	高温を避ける。
混触危険物質	酸化剤等
危険有害な分解生成物	燃焼または熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素、金属酸化物等が発生するおそれがある。

11. 有害性情報**製品の有害性情報**

皮膚腐食性/刺激性	皮膚の乾燥、ひび割れ、刺激を生じる。長時間または反復の皮膚接触は、皮膚を脱脂し、皮膚刺激、皮膚炎を起こす場合がある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	一過性または偶発的な眼との接触は、充血を起こす可能性がある。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	高温でのオイルミストまたは蒸気の吸入は、呼吸器への刺激の原因となる場合がある。大量の摂取は、吐き

気や下痢を引き起こす可能性がある。

成分の有害性情報

情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の有害性情報

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類(国連輸送名)	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MAR POL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

緊急時応急措置指針番号:該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（鉱油）（0.1重量%以上を含有する製剤その他のもの）

16. その他の情報

参考文献

NITE GHS 分類物質一覧（2022）

日本産業衛生学会（2021）許容濃度等の勧告

ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2021) TLVs and BEIs.

【注意】

この安全シートは、JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成されているが、必ずしも十分ではない可能性がある。このため本製品の取り扱いには十分に注意が必要である。この安全シートの記載内容については、法令の改正及び新しい知見等に基づき改訂が必要となる場合がある。この安全シートの内容は通常の実施を対象としたものであるため、特別な取扱いをする場合には、用途や条件に適した安全対策等を実施することが必要である。